

2020 年 3 月 13 日制定

2020 年 6 月 1 日修正

2020 年度事業計画

I. 基本方針

一般社団法人鉄骨技術者教育センターは、2018 年 11 月 12 日に設立され、2019 年 4 月から資格認定等事業を開始した。これまで複数の機関が運営してきた「鉄骨製作管理技術者」、「建築鉄骨製品検査技術者」および「建築鉄骨超音波検査技術者」の資格を、2019 年 4 月 1 日に本センターに移管し、第三者性、公正性と透明性を確保しつつ、各資格の新規・更新試験および更新・継続講習と認定登録を実施した。

2020 年度も引き続き資格認定等事業を着実に実施して当センターの事業基盤を安定化させるとともに、鉄骨技術者の技術力向上のため、会員事務局連絡会等を通じて、調査研究・教育事業内容の検討を進める。

なお、新型コロナウイルス感染防止のため、各資格の試験、講習会については、会場での感染防止対策を講じるほか、状況に応じて時期の延期や特別措置の対応を行う。

II. 資格認定等事業

1. 鉄骨製作管理技術者

(1) 試験

新規の資格取得希望者を対象に、学科試験を実施する。

※ ()内数字は前年度実績 (以下同じ)

	1 級	2 級
試 験 日	2020 年 10 月 24 日 (土)	
実 施 地	9 会場 (札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、 大阪、広島、宇多津、福岡)	
予想受験者数	1,260 (1,224)名	690 (711)名

(2) 更新

① 更新講習

2021 年 3 月 31 日で資格取得後 5 年 (更新 1 回目) 及び 10 年 (更新 2 回目) を経過する者を対象に、更新講習会 (1 日講習) を実施する。なお、新型コロナウイルスの感染防止のため、実施期間を 6 月～8 月から 11 月～12 月に延期する。さらに、今後の状況によっては講習会を中止して講習テキストを送付し、レポートの提出によって修了考査の代替とする等の対応策を検討する。

	1 級	2 級
実施期間	2020 年 6 月～8 月 11 月～12 月	
実 施 地	9 会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、 大阪、広島、宇多津、福岡）	
対象者数	更新 1 回目； 893 (517)名 更新 2 回目； 485 (617)名 合 計； 1,378 (1,134)名	更新 1 回目； 602 (305)名 更新 2 回目； 296 (391)名 合 計； 898 (696)名
予定者数	更新 1 回目； 703 (435)名 更新 2 回目； 409 (521)名 合 計； 1,112 (956)名	更新 1 回目； 284 (139)名 更新 2 回目； 174 (226)名 合 計； 458 (365)名
	・資格取得後、1 回目の更新講習は、講義及び修了考査とする。 ・資格取得後、2 回目の更新講習は、講義及び論文とする。	

② 書類審査

2021 年 3 月 31 日で資格取得後 15 年（更新 3 回目）以上を経過する者を対象に、更新書類審査を実施する。

	1 級	2 級
実施期間	2020 年 6 月～8 月	
対象者数	321(585)名	153 (369)名
予定者数	246(268)名	97 (112)名
	・更新書類審査は実務経歴書による書類審査を基本とするが、当該年度に開催される更新講習（午前中の講義のみ）を受講することにより更新書類審査を合格とすることができる。	

(3) 認定登録

試験合格者、更新講習修了者及び書類審査合格者を認定登録し、2021 年 4 月 1 日付けの登録証を発行する。

予定者数	1 級	2 級
新 規	756 (742)名	483 (502)名
更 新	1,353 (1,202)名	553 (465)名
更新講習	1,107 (934)名	456 (353)名
書類審査	246 (268)名	97 (112)名
合 計	2,109 (1,944)名	1,036 (967)名

2. 建築鉄骨製品検査技術者・建築鉄骨超音波検査技術者

(1) 新規

新規の資格取得希望者を対象に、学科試験及び実技試験を実施する。なお、新型コロナウイルス感染防止のため、学科試験の試験日と実技試験の実施期間をそれぞれ半年程度延期する。その結果、実技試験は来年度にまたがることとなる。

①学科試験

※（）内数字は前年度実績（以下同じ）

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
試験日	2020年 6月27日（土） 12月5日（土）	
実施地	8会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、高松、福岡）	6会場（仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、福岡）
予定者数	700 (735)名	330 (325)名

②実技試験

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2020年9月～12月 2021年2月～5月	2020年9月～12月 2021年2月～5月
実施地	7会場（札幌、盛岡、川崎、名古屋、大阪、宇多津、福岡）	5会場（盛岡、川崎、名古屋、大阪、福岡）
予定者数	830 (903)名	300 (308)名

(2) 継続

2021年3月31日で資格取得後5年を経過する者を対象に、継続講習会（2時間講習）を実施する。なお、新型コロナウイルス感染防止のため、今後の状況によっては講習会を中止して講習テキストを送付し、レポートの提出によって受講の代替とする等の対応策を検討する。

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2021年1月～2月	2021年1月～2月
実施地	9会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、広島、宇多津、福岡）	
対象者数	1,178 (1,267)名	563 (502)名
予定者数	940 (1,077)名	450 (427)名

(3) 更新

2021年3月31日で資格取得後10年を経過する者を対象に、更新試験を実施する。なお、新型コロナウイルス感染防止のため、実技試験会場の定員を減員するとともに、今年度の更新試験の受験を見合わせる資格者には、資格の有効期限を1年間延長し、次年度の更新試験に合格した場合に2022年4月1日から4年間の有効期限の登録証を交付する。

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2020 年 8 9 月～ 12 11 月	2020 年 9 月～11 月
実 施 地	7 会場（盛岡、川崎、金沢、 名古屋、大阪、岡山、福岡）	5 会場（盛岡、川崎、名古屋、 大阪、福岡）
対象者数	941 (1,082)名	393 (559)名
予定者数	750 (830)名	310 (450)名

(4) 認定登録

実技・更新試験合格者及び継続講習修了者を認定登録し、2021 年 4 月 1 日付けの登録証を発行する。ただし、新規受験者については、実技試験合格者の決定が 2021 年 6 月となるので、登録証の発行日は 8 月 1 日付けとし、資格の有効期間は 2026 年 3 月 31 日までとする。

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
新 規	540 (586)名	200 (205)名
継 続	940 (945)名	450 (416)名
更 新	710 (672)名	300 (372)名
合 計	2,190 (2,203)名	950 (993)名

以上